

※※ 2008年 6月改訂
(第3版)
※ 2005年10月改訂

日本標準商品分類番号	872615
承認番号	(61AM)1963
薬価収載	1986年3月
販売開始	1986年3月
再評価結果	1982年8月

<貯 法>

遮光した気密容器に入れ、火気を避けて保存。

<使用期限>

ラベルに記載

【禁 忌】

(次の部位には使用しないこと)

損傷皮膚及び粘膜〔刺激作用を有する。〕

※※【組成・性状】

1. 組 成

本剤は15℃でエタノール(C₂H₅O)95.1~96.9vol%を含む。

2. 性 状

本剤は無色澄明の液で、水と混和する。本剤は燃えやすく、
点火するとき、淡青色の炎をあげて燃える。揮発性である。
比重 d_{4}^{15} : 0.809~0.816

※※【効能・効果】

手指・皮膚の消毒、手術部位(手術野)の皮膚の消毒、
医療機器の消毒

【用法・用量】

本剤830mlを精製水でうすめて1000mlとし、これを
消毒部位に塗布する。

【使用上の注意】

1. 副 作 用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる
調査を実施していない。

	頻 度 不 明
過敏症 ^(A)	発 疹 等
皮 膚 ^(B)	刺激症状

注)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

外皮用殺菌消毒剤

日本薬局方

エタノール

(エタノール「三恵」)

Ethanol

16ℓ

製造番号

使用期限

第4類アルコール類
水溶性 危険等級Ⅱ

火気厳禁

※製造販売元

株式会社 三恵薬品

愛知県豊橋市入船町21番地

2. 適用上の注意

1) 人 体

- ア. 原液又は濃厚液は刺激作用があるので経口投与しないこと。
- イ. 眼に入らないよう注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
- ウ. 広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。
- エ. 同一部位に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。

2) その他

本剤は血清、胆汁等の蛋白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落してから使用すること。

3. その他の注意

承認外の経皮的エタノール注入療法(PEIT)使用例で、注入時の疼痛、酩酊感、発熱、本剤の局所外流出による重篤な胆道・腹腔内等での出血、肝梗塞、肝不全等が報告されている。

【薬効薬理】

本剤は、使用濃度において、栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)、酵母菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞(炭疽菌、破傷風菌等)及び一部のウイルスに対する効果は期待できない。

【取扱上の注意】

- (1) 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合には、腐食を防止するために0.2~1.0%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。
- (2) 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。
- (3) 引火性、爆発性があるため、火気(電気メス使用等も含む)には十分に注意すること。